

日本計画行政学会第48回全国大会 研究報告・ワークショップのプログラム（2025年8月18日時点）

【1日目】9:30～11:30 セッションⅠ

401講義室	402講義室	403講義室	416講義室	400講義室
セッションⅠ-1	セッションⅠ-2	セッションⅠ-3	セッションⅠ-4	セッションⅠ-5
都市	防災・復興	環境	SDGs	ワークショップ1
座長 小林正典（国土交通省）	座長 品田誠司（東北福祉大学）	座長 坂本直樹（山形大学）	座長 押谷一（酪農学園大学）	港を核とした国土構想の再設計：港湾戦略と地方創生の学際的検討
座長 藤木秀明（日本大学）	座長 丸岡泰（石巻専修大学）	座長 包薩日娜（国立環境研究所）	座長 朴堯星（統計数理研究所）	
人口移動の要因に関する研究動向	合意形成におけるICTワークショップ手法の有効性～所要時間と発言量からの分析～	官民連携による環境教育事業の展開プロセス-日高市を事例として-	多様性に対応した地方公共団体職員の人材育成施策についての考察-地方公共団体の多文化共生施策における理解促進の取組を起点として-	村上裕一（北海道大学） 稲吉晃（新潟大学） 林昌宏（愛知学院大学） 川島佑介（名城大学）
○石原知歩（芝浦工業大学大学院M2）、 菅原碧（芝浦工業大学大学院 M2） 塚田昇吾（芝浦工業大学） 藤田楓（芝浦工業大学大学院 D3） 市川学（芝浦工業大学）	○佐々木秀之（宮城大学）、 菅原茉唯（宮城大学大学院M2）、 森谷健太（宮城大学大学院D1）、 中沢峻（宮城大学）	○小林奨（埼玉女子短期大学）、 風見正三（宮城大学）	○尾中政憲（追手門学院大学経営・経済研究科D2）、 藤原直樹（追手門学院大学）	
若年層の『地元愛』醸成の要因の考察 ～共起ネットワークを用いたテキスト・マインイング～による分析～	ローカスポーツを通じた地域振興～エスキーテニスを事例に	公園を都市インフラとして再構築する試み ―産学連携による共創事例と今後の展望―	地域の未来予測を活用したバックキャスト型政策形成-10年間の未来ワークショップの経験を踏まえて	
○深井祐希（麗澤大学大学院M1）、 龍義樹（麗澤大学）	○翼 俊樹（天和大学3年） 古田 菜々（大和大学3年） 入澤 優羽（大和大学3年） 松林 薫（大和大学）	天野健作（大和大学）、 ○立花晃（大和大学）	○倉阪秀史（千葉大学大学院社会科学研究院）	
地域再生計画におけるシビックプライドの醸成を目標に掲げている自治体の取組について	ネットワーク解析に基づく地域防災計画支援のアクションリサーチ	既設道路への影響から見た環境影響評価法の都市計画特例運用の課題	自然哲学思想に基づく人的マネジメント成果に関する研究 - 中庸視点による内的要素とマネジメント成果の考察 -	
○横山翔（北海道酪農畜産協会・放送大学研究生）	○小野聡（千葉商科大学）	○菅正史（下関市立大学）	○早川大梧（一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所）、 風見正三（宮城大学）	
コミュニティガーデンにおける市民と行政の協働関係：ボトムアップ型とトップダウン型のマネジメントの移行過程に着目して	南海トラフ地震に備えた事前復興への取り組み 一政府、自治体の戦略と実践一	東京都立自然公園と首都圏近郊緑地保全区域の区域重複の背景とその影響～多摩丘陵を事例として～	吹田市チャレンジショップ事業の検証と今後の展望	
○菊池隆聖（一橋大学大学院M2）	○北村知史（同志社大学政策学部）	○渡部友賀（一橋大学大学院M1）	永井琉太（天和大学2025年3月卒）、 ○立花晃（大和大学）	

注1：○は報告者、下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。 ・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）

・ワークショップ：90分

【1日目】15:30～17:30 セッションⅡ

401講義室	402講義室	403講義室	416講義室	400講義室
セッションⅡ-1	セッションⅡ-2	セッションⅡ-3	セッションⅡ-4	セッションⅡ-5
子ども	EBPM	参加	DX	ワークショップ2
座長 福田美紀（びわこ学院大学）	座長 村上裕一（北海道大学）	座長 立花晃（大和大学）	座長 畑正夫（神戸国際大学）	東北地域におけるGISデータの活用と政策評価
座長 柳津英敬（東北大学）	座長 小野聡（千葉商科大学）	座長 徳永幸之（宮城大学）	座長 堂免隆浩（一橋大学）	
子育て支援の担い手としての地域社会の役割に関する仮説的研究—東京都内の基礎自治体における子育て支援に関連する計画を対象として—	国内各市町村における観光容量の定量的推計	自分ごと化の要因分析～福岡県大刀洗町を事例に～	2025年時点での日本の市におけるウェブアクセシビリティに関わる方針策定と年次試験結果の更新状況	菊池隆聖（一橋大学大学院M2） 白川慧一（敬愛大学） 菅原茉唯（宮城大学大学院 M2） 寺山 棕（日本大学大学院 M2）
○毛塚泰樹（一橋大学大学院D2）	○小嶋隆斗（芝浦工業大学大学院M2）、 藤田楓（芝浦工業大学大学院D3）、 市川学（芝浦工業大学）	竹内彩乃（東邦大学）、 ○平田幸輝（弘前大学）	○本田正美（関東学院大学）	
児童生徒による効果的な学習方法の理解は学力格差縮小につながるか—自治体データリンケージによる子どもの格差とレジリエンスの検証プロジェクトから—	大学経営が地域社会に与える影響～寄附行為の観点から～	恵那市飯地町において互助による移動が選択された地域的背景について	BPMの導入における中小企業の人的資源開発の基礎的研究	
○比嘉康則（とよなか都市創造研究所）	○平原隆史（千葉商科大学人間社会学部）	○稲垣佑一（一橋大学社会学研究科M1）	○秋山誠（麗澤大学大学院）	
地域における子ども支援の意義と課題	都市における「くらしの豊かさ実感」について—Well-being指標の政策立案への導入を背景として—	政策評価の新時代：ZK-Sharks概念を援用した、ウィキッド・プロブレムに対応する政策評価の仕組み	デジタル田園都市国家構想と自治体Dxの中間的政策評価—本当に地方は「幸福」になるのだろうか	
○松村智史（名古屋市立大学大学院）	○平田誠一郎（とよなか都市創造研究所）	○永田右京（岩手県立大学）	○松村豊大（徳島文理大学）	

注1：○は報告者、下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。 ・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）

・ワークショップ：90分

【2日目】9:30～11:30 セッションⅢ

401講義室	402講義室	403講義室	416講義室	400講義室
セッションⅢ-1	セッションⅢ-2	セッションⅢ-3	セッションⅢ-4	セッションⅢ-5
地域	観光	自治	生活	ワークショップ3
座長 菅正史（下関市立大学）	座長 初澤敏生（福島大学）	座長 倉阪秀史（千葉大学）	座長 上森貞行（宮城大学）	東日本大震災の復興と課題
座長 杉田早苗（岩手大学）	座長 松村豊大（徳島文理大学）	座長 錦澤滋雄（東京科学大学）	座長 持木克之（埼玉大学）	
地方の存続要因に関する研究動向	稲作を通じた持続可能な地域社会の形成に関する研究～都市・農村をつなぐ農業支援サービスの可能性に関する考察～	地方公共団体の基金の債券運用について－徳島県内の市町村の事例からの考察－	日本の地方自治体におけるパートナーシップ宣誓制度の普及状況について	山本佳世子（電気通信大学） 押谷一（酪農学園大学） 徳永幸之（宮城大学） 丸岡泰（石巻専修大学）
○塚田昇吾（芝浦工業大学B4）、 石原知歩（芝浦工業大学大学院 M2） 菅原碧（芝浦工業大学大学院 M2） 藤田楓（芝浦工業大学大学院 D3） 市川学（芝浦工業大学）	○餅田 宏喜（一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所・客員研究員）、 鈴木 佳文（一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所）、 風見正三（宮城大学）	○小笠原草（西国大学教授）	○湯田舞（千葉大学M2）	
消滅可能性自治体における移住促進施策の有効性に関する考察	東日本大震災伝承施設の持続可能性に関する研究	全国の自治体における再エネ条例の制定状況と類型化	沖縄における食料アクセス問題の現状と課題－買い物支援施策と共同売店モデルの適用可能性－	
○山本 悟（山口大学大学院東アジア研究科D1）	○柳津英敬（東北大学研究員）	○宮本誠隆（東邦大学）、 関真大（東邦大学）、飯部智弘（東邦大学）、 竹内彩乃（東邦大学）	○菅木天翔（大和大学B2）、 立花晃（大和大学）	
境界線が投票率に与える影響	移住者の地域社会へのかかわりと多様な移住者の役割－長野県池田町を事例に	総合戦略と総合計画の関係～その融合状況をめぐって～	日常的な買い物行動に関する研究動向	
○坂本東生（青山学院大学博士後期課程2年）	○森重昌之（阪南大学）	○包國嘉介（法政大学大学D3）	○山之上翼（芝浦工業大学大学院M1） 狩野秀鷹（芝浦工業大学大学院M1）、 塚田昇吾（芝浦工業大学B4）、 藤田楓（芝浦工業大学大学院D3）、 市川学（芝浦工業大学）	
財政的観点による居住誘導区域の評価	「ワデュケーション」による関係人口創出効果の研究－秋田県鹿角市におけるフィールドスタディ－	地域住民による住環境保全活動の停滞要因に関する事例研究－D 町会を例として－		
○菅原碧（芝浦工業大学大学院M2）、 藤田楓（芝浦工業大学大学院D3）、 市川学（芝浦工業大学）	○水谷考雄（東日本電信電話株式会社 地域循環型ミライ研究所）、 伊藤将人（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）	○堂免隆浩（一橋大学）、 菊池隆聖（一橋大学大学院M2） 佐藤真陽（一橋大学大学院M2）、 黒部真由（一橋大学大学院M2）		

注1：○は報告者、下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。 ・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）

・ワークショップ：90分

【2日目】15:15～17:15 セッションⅣ

401講義室	402講義室	403講義室	416講義室	400講義室
セッションⅣ-1	セッションⅣ-2	セッションⅣ-3	セッションⅣ-4	セッションⅣ-5
産業労働	公共	経済	まちづくり	ワークショップ4
座長 森重昌之（阪南大学）	座長 藤本吉則（尚絅学院大学）	座長 西川雅史（青山学院大学）	座長 伊藤将人（国際大学）	洋上風力発電の地域共生に関する計画理論と基礎自治体の政策 竹内彩乃（東邦大学） 小林寛（東京大学大学院 D3/経済産業省） 佐藤修（山形県遊佐町） 佐藤律子（日本工営株式会社） 佐竹宗徳（パンフィックコンサルタンツ株式会社） 細川岳洋（アジア航測株式会社）
座長 松林薫（大和大学）	座長 山本佳世子（電気通信大学）	座長 平原隆史（千葉商科大学）	座長 中沢峻（宮城大学）	
東洋史観の枠組みによる商店街の活動指標に関する研究～商店街顕彰事業での活用成果に基づく考察～	公共施設等総合管理計画の進捗及び財源確保策に関する研究—全国市区町村アンケート調査による実態解明—	太陽光パネルが自然景観に及ぼす影響に関するCVM分析—山梨県北杜市小淵沢地区の事例—	プラモデル製作上の蹟きに関する調査と心理学的分析—産学官連携プロジェクトによる地域交流イベントを通じて—	
○鈴木佳文（一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所） 餅田宏喜（一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所） 風見正三（宮城大学）	○上森真行（宮城大学）、 瀬田史彦（東京大学大学院）、 藤木秀明（日本大学）、 岡井有佳（立命館大学）、 近藤早映（三重大学）、 吉村輝彦（日本福祉大学）	○川瀬弘弘（東洋大学）	○福田美紀（びわこ学院大学）、 永利颯志（大和大学B3）、 立花晃（大和大学）	
逆指名の観点から見た地方自治体による移住支援制度の運用実態に関する研究	アジャイルアプローチを適用した持続可能なまちづくりビジョンに関する考察	ベンチャーキャピタルの集積はスタートアップを生み出すか：都市経済学の視点から	滞留人口データを用いたバス路線評価手法の検討	
○酒井佑（筑波大学大学院M2）、 川島宏一（筑波大学）	○畑正夫（神戸国際大学）	○寺山棕（日本大学大学院M2）	○森谷健太（宮城大学大学院事業構想学研究科博士後期課程）、 高橋信人（宮城大学大学院事業構想学研究科）、 徳永幸之（宮城大学大学院事業構想学研究科）、 蒔苗耕司（宮城大学大学院事業構想学研究科）	
地方中小企業の危機における事業戦略の転換～にしき食品とヤグチ電子の比較研究～	貧困化と格差拡大が進む日本の財政再建の方法 — 国民の理解を最優先した具体的提案 —	トランプ関税が日本経済に及ぼす影響について—地方創生2.0と地場産業への影響—	地方地域における移住促進に関する現状と課題：文献レビューに基づく考察	
○品田誠司（東北福祉大学）	○岩本直（周南公立大学）	○松下愛（長崎県立大学）	○包薩白娜（国立環境研究所） 伊藤将人（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）	
窯業都市における職人、作家の継承意識と持続可能性に関する質的分析—常滑市の作家・職人へのインタビュー調査を通じて—	既存住宅の断熱性能の向上は入居者の定住促進を促すか？：EBPMに基づく地域脱炭素施策のためのアンケート調査による検証	グリーンインフラと経済価値の関係に関する分析—グリーンインフラの経済効果の見える化による投資促進の取組—	地方創生施策の展開に関する考察～上越新幹線沿線自治体に着目して～	
○立花晃（社会学部）	○高浜伸昭（市川市 東洋大学大学院D3）	○小林正典（国土交通省）	○持木克之（埼玉大学）	

注1：○は報告者、下線は優秀発表賞候補者。

注2：時間管理は以下のとおり。 ・研究報告：30分（報告：15分 質疑応答：12分 交代：3分）

・ワークショップ：90分

本部棟 4 階平面図

